

# 有限会社 快テック

いわて新産業創造センター  
インキュベーションルーム  
入居企業の紹介

「市場のグローバル化」 IT技術の革新的な進化は国内だけでなく世界への進出を可能にしてきた。しかし、そうした輝かしい未来は理解できても、その扉を開くことはたやすいことではない。言語の壁、距離的なハンデ、風土の違い...そうした諸問題解決の手助けをし、水先案内人の役目してくれるのが平成13年6月に起業した有限会社快テックである。

## キーワードは「良いもの」

有限会社快テックの代表取締役社長、菅野卓矢さんは、軟らかな口調で語ってくれた。

「今、中小企業の方々は市場の閉塞感がますます強まっていると感じているでしょう。しかもITという、今までにない技術の活用法も見えにくいんじゃないでしょうか。しかし、良い商品・技術を持っているなら、必ず海外でも受け入れられますし、それこそ生き残っていく条件になるんじゃないでしょうか」

戦後、優れた技術と巨大な資本投下により多くの大企業が海外へ進出した時代と現代では事情が違くと菅野さんは言う。

「これからは『企業』対『企業』ではありません。『個』対『個』。つまり商品・技術をアピールしてくれるその人への信頼こそが重要になっていますね。そういった意味では岩手の中小企業にも十分チャンスがあるんですよ」

そうした企業の海外事業の展開を支援するのが快テックだという。

## 2つのマーケティング法で支援

「海外への第一歩としてお手伝いするのが『リアルマーケティング支援』と『バーチャルマーケティング支援』です」

リアルマーケティング支援とは、海外に乗り込み出店すべき見本市の選定や単独での現地マーケティング調査、カウンターパート(現地の代理店)探しなどだ。

「ただ見本市のブースで企業を紹介するだけではありません。見本市には多数の企業が参加し、し烈な売り込みを行います。そこでどう注目してもらえるか。そのためのCD-ROMなどのツール作りもお手伝いします」

例えば、そう言って見せてくれたのがポストカードだった。裏面には美しい日本的な絵が印刷され、表面にURLとメールアドレスが記載されているだけだ。しかし、海外ではこうした小さく、必要最低限の情報が入っている方が持ち帰り保管してくれるのだという。

一方のバーチャルマーケティングはホームページを始めとしたIT技術を活用して行われる。

「ポイントは更新とヒット率のアップ。そのためのシステムやプロバイダー事業も用意してあります」



12月20日に盛岡で行われた「ワインストール(ドイツのワインの屋台を再現したワインを楽しむ会)」。この仕掛け人も菅野さん。「街が賑わうって大事だと思うんです。そうすることにより人とのつながり、アイデア、楽しさ...さまざまなものが生まれてきますよね」この日の収益金はNPO法人キッズエナジーに寄付され難病と闘う子どもたちのために使われる。

## まずは「十割そば」を海外へ

こうしたさまざまな知識とアイデアの源であり、力として発揮されるのが菅野さんの人的ネットワークだ。JETRO(日本貿易振興会)のメンバーをはじめ、IT関連のツール制作者からマーケティングのプロなどに依頼し「テンポラリーサービス(短期集中型の効率的サービス)を提供している。

「年間契約もしていますが、スピードが重視される時代こそ、短期集中型のサービスが求められるでしょうから」

その具体例が徐々に形を現しつつある。(株)十割そば(本社:盛岡市、石渡隆司代表取締役)の十割そばマシンとノウハウが海を越えようとしているのだ。

「現地調査ではかなりの好感触を得ました。健康志向にマッチした上、テイストはすばらしいですから」と笑顔で語る菅野さん。謙虚な口調ながら、その瞳は次のビジネスをすでに見ずえているようだった。



有限会社 快テック / DATA  
本社:盛岡市菜園二丁目8-35  
マリオスオフィス:盛岡市盛岡駅西通2-9-1 7F  
TEL 019-621-5277 FAX 019-621-5287  
ホームページ <http://www.kaitec.jp>  
Eメールアドレス [information@kaitec.jp](mailto:information@kaitec.jp)

インキュベーションルームとは、企業成長を支援するための施設で、創業間もない企業等に低額で貸与するマリオス7階のオフィススペース。入居者に対しては総合的な支援を実施している。



リアルマーケティングのために訪れたマインツ(ドイツ)の見本市にて



青森県三沢の書家・風間宗拓氏によって書かれた「他力」文字。菅野さんが好きな言葉だ。「私のビジネスがこの言葉に凝縮されているんです。皆さんのおかげで新しいことにも取り組めます。菅野さんの交流はビジネス分野のみにとどまらず、文化、芸術と実に幅広い」



有限会社快テックの取締役社長菅野卓矢さん。以前はコンピュータ関連の会社に勤務していたが、よりグローバルなビジネスを目指し起業した。「2001年12月にはINX(産学官の取り組みのために結成した『岩手ネットワークシステム』)の中に『国際産業交流研究会』も立ち上げました」